

## おとうさんとあそぼう!

妊娠時から子育て世代まで楽しめる「こどもより」には、雨の日でも室内にある遊具で遊べる「こどもパーク」や甲賀子育て支援センターがあります。6月1日(土)同センターの「おとうさんとあそぼうひろば」には、9組の親子が参加されました。

参加されたお父さんの中には1年間の育児休業を取得されている方も。お父さんの、子育てに対する思いとは。



▲おとうさんとあそぼうひろばに参加された皆さん

## おとうさんたちの声

平日は仕事で遅くなるので休日に子どもと遊ぶのが楽しいです。

妻が買い物に行くので、少しでも息抜きをしてもらえたらと思いました。

子育ては大変ですが、妻の方が大変だと思つたので、少しでも負担が軽くなればと思い、家での家事分担は特に決めることなく食器洗いや洗濯など、自然とできていく感じがします。



## ご飯で育む子育ての輪

### 「子ども食堂」の数は17と県内でトップ!

全国で急速に広まっている「子ども食堂」の人気の背景には、共働きや、ひとり親家庭の増加など、ひとりで食事をせざるを得ない子どもが増えたということが挙げられます。『ご飯を通じて垣根のない居場所』が合言葉の「子ども食堂」。市内では、17と県内でもトップの数を誇ります。

子ども食堂の役割は、単に子どもの居場所づくりだけでなく、関わる方々も地域のつながりをより一層深め、みんなを元気にしたい。『多世代での交流が図れる場になりたい。』など、その活用方法や効果は無尽大です。



▲PRのために子ども食堂の皆さんとシンガーソングライターのyokkoさんが作ったテーマソング



中でも印象に残ったのは「子育てが大変なのは妻、負担を少しでも軽くするために家での家事分担が自然とできていく」という声が多かったこと。相手を思いやる気持ち、子育てにも自然に関わっていくんですね。

市内の子育て支援センターでは、毎月楽しいイベントを実施しています。子育て支援センターだよりやこまあちねつを見て家族みんなで遊びに行ってみませんか。子育てで悩んでいること、不安に思っていることなど思いを共感できる友達づくりができるかもしれません。お父さん同士で子育ての話が職場などでも自然にできる、そんなまちなれば良いですね。



▲すべて手作りによる会報「粒っ子News」

## 子どももごはんを育てたい!

### 「粒っ子News」

今年で活動13年目。子どもの心と体を健康に育てるにはごはん(和食)が一番という強い思いと一人でも多くの子育てママにごはん食の良さを知らせてもらおうというのが活動理念です。

これまで、学校給食の試食会や関連映画の上演会などを企画・開催され、食育について考えてもらおうと継続して活動されています。

こうした活動内容や食育に関する情報を掲載した会報『粒っ子News』。子育て支援センターを始め、図書館などにも設置されているので、ぜひ一度手に取ってみてください。



## 地域で子育て みんなが元気に!



朝からあいにくの雨が降る5月28日(火)、綾野自治振興会と水口子育て支援センター合同で「あやのちびっこらんど&出前ひろば」が開催され、たくさんのお父さんが参加されました。

これまでから自治振興会の健康福祉・スポーツ部会が主体となり子育て広場を月1回(第4火曜日)鹿深ホールで開催。この日は、センター職員や子育てに関わる地域のおじいちゃんも一緒に大型の積み木や色ボール、また手を使った歌遊び、親子での触れ合い遊びをしました。



▲子どもが夢中になる歌遊び

初めて来られた方が多く、参加された方は「すごく楽しかった。来て良かったです。」とおっしゃっていました。

市内には、他にもこうした地域での子育て広場がたくさんあります。

## 子育てを楽しもう!

地域全体で子育てをしようとする取り組みは、これ以外にもたくさんあります。

子育ては決して一人ではありません、時には同じ悩みを共有できる友達、アドバイスをもらえる先輩などがきっといます。

各子育て支援センターには、子育ての相談案内役としての「子育てコンシェルジュ」を配置していますので、一人で悩まず、とにかく一歩足を踏み出してみましょう。周囲の力も借りつつ、今しかない子育ての時間を楽しみましょう!

